

6月
第二十三回定時総会
「玉姫会館」



岡田一男 理事長
和泉富美雄 副理事長
岸本辰三 副理事長
吉富正弘 副理事長
小松恵美子 副理事長
岩木正実 副理事長 体制

「CLUB司」
10月12日
オープン

1953年
「日本初の
屋上ビアガーデン」

大阪駅前の
大阪第一生命ビルで営業



節分

紙なべ発祥の料亭「紙なべ廬月」
司馬遼太郎さんが上方の味とし
て絶賛!!
持味は加工をした和紙を使い紙
は焦げることなく、新鮮な材料
の味を引き出してくれる。

1984
昭和 59 年

- 国立文楽劇場開場
- グリコ森永事件
- ロス五輪

- 新一万円札、五千円札、千円札発行

節分



岡田一男氏監製褒章受章



● 缶チューハイ登場

1984
昭和 59 年

フレーズ	財テク
ソング	「桃色吐息」

流行表

1985
昭和 60 年

フレーズ	新人類
ソング	「ジュリアに傷心」

6月
第二十四回定時総会
「天橋立ホテル」



1985
昭和 60 年

- 阪神タイガース 初の日本一
- 大阪人権歴史資料館「リハビリおさか」開館



(株)イグザミナ
主幹
眞島 弘氏

新聞記者を志し、桜橋にあった産経新聞社に入社してから55年の歳月。配属された経済部記者は、目と鼻の先の北新地を、わが庭と心得て、灯ともしごろが待ち遠しかった。日本経済の成長期の入り口。取引先の首脳や幹部からほぼ毎日、宴席への誘い。酒好きだから誘いに応じ、やがて、自前でパトロール。必然的に名前と顔が売れた。

昭和37年、天満バー組合が出来たころ、貸席4軒、お茶屋、料亭が繁昌し、登録芸者衆600人。そのほとんどを知っていた。やがて北新地のビル化によって、クラブ、バーが無数に増えた。太田、ラ・モール、あざみ。万博景気前後の北新地は、まさに不夜城の趣を呈し、連日連夜、ハシゴ酒して午前様。度数は強いアルコールを飲みあがるのに、翌日は新聞記者としての取材活動に精を出していたわけだから、若さと体力の賜物だった。

サンケイ在籍24年の間に証券、機械・電機、造船・海運、電力・ガス、財界・金融などを担当し、いわゆるデスク、部長。しかし、生涯、物書きに徹したい願望から独立、新聞、雑誌、単行本執筆に専念、さらに、関西から消えた

経済主体の総合雑誌の分野に乗り出して、もう25年に近づいている。

(株)「イグザミナ」検証を意味する雑誌は、やはり、経済界と北新地をはじめとする大阪の四花街、バー、クラブで育てられたという恩義に報いるため、関西に活字文化を復活させる思い入れ。財界人や文化人とのビッグインタビュー、巻末に連載していた「SET UP 頑張る佳人」が売りだった。この間、お酒の雑誌『たる』に連載した、百人のマダムを書いた「佳人の四季」は豪華な装丁の二冊の本になり「北新地バイブル」にもなった。北新地が暮れ馴染むころ打ち水をしたこの花街をお座敷に向かう芸者衆。格子戸の向こうから聞こえてくる三昧の音。風情、情緒が満ち溢れていた。阪急の小林一三さんが書いた「曾根崎艶話」は筆者のバイブル。職業柄、取材はお手の物。「恋愛ごっこ」にも、精を出した。ただし、財界人や芸者、マダムらの艶聞、醜聞の全貌は、プライバシーに心して、聞くが、言わざる、書かざるの姿勢を貫いてきた。それらはすべて、わが資産だといえるだろう。

花街・北新地は、いま、サラリーマンにはお酒呑み処の感覚。が、一流好みの筆者は自前で遊ぶ甲斐性を備えていた。蔵の一つや二つは飲んでしまった。教養とは次元の異なる「いらざる資産蓄積」は無用の長物かもしれないが、散財で得た財産は、やはり得がたい。

6月

第二十五回定時総会
「駅前第二ビル 北京」



● 4月1日
男女雇用機会均等法
施行

1986
昭和 61 年

● チャールズ皇太子夫妻
来日でダイアフラマー

● 4月1日
国鉄民営化、J R 発足

● 携帯電話開始
● パブル経済始まる

1987
昭和 62 年

● 大韓航空機
爆破テロ事件

節分



6月 第二十七回定時総会
「全日空ホテル」



「クラブ神原」オープン
11月1日

「ジュリアーノ」オープン
11月1日

● 消費税開始 (3%)

1988
昭和 63 年

● リクルート事件

● ソウル五輪

● 瀬戸大橋開通



節分



「Jazz&Bar トーボー」
オープン
5月

● 11月
ベルリンの壁崩壊

1989
平成元年



10月 栗拾いの会

6月 第二十八回定時総会「長浜口イヤルホテル」



流行表

1989
平成元年

フレーズ	セクハラ
ソング	「川の流れるように」

流行表

1988
昭和 63 年

フレーズ	オタク
ソング	「乾杯」

3月9日
「クラブいしかわ」オープン

6月6日
「Bar・K」オープン

第二十六回定時総会
「湯郷温泉 たつみ荘」



流行表

1987
昭和 62 年

フレーズ	マルサ
ソング	「ガラスの十代」

● 宅配ピザ屋登場
(東京)

1986
昭和 61 年

フレーズ	やるっきゃない
カルチャー	おにやん子ブーム

流行表

日本初の自動券売機・改札
駅の自動化は大阪から

1954 年、阪急梅田駅に軟券式
自動券売機が設置され、1967
年には阪急北千里駅に自動券売
機が設置された。

¥

あんぱん 90 円
カレーライス 500 円
コーヒー 330 円



日本政策金融公庫
大阪支店長
舛田 一彦氏

「北新地社交料飲同業者組合創立50周年に寄せて」
初めに、北新地社交料飲協会50周年を迎えられまし
たことを心よりお慶び申し上げます。

昨年4月に「北新地」の街並みの建物の背中が支店
長室から見えるほど近い支店に着任しました。着任後
北新地社交料飲協会の皆さまと親交が深まるにつれ、
「北新地」の安全・安心なまちづくり、そしてそれぞれ
お店のおもてなしの心、いわゆる「北新地らしさ」今
流にいえば「北新地の品格」は貴組合の皆さまが50年
にわたる努力の賜物によって築かれているものと、頭
が下がる思いです。

日本経済新聞で連載されている最近の「私の履歴書」
にも、建築家の安藤忠雄氏、元プロ野球監督の広岡達
朗氏が「北新地」での人との出会いについて記述があ
ります。皆様の努力により、「北新地」のお店が財界、
スポーツ界など多岐にわたる各界で活躍されている
方々の信頼おける社交の場として、お客さまからも大
切にされていることがよくわかります。

2月3日に「堂島薬師堂 節分お水汲み祭り」に行
かせていただき、北新地の女性の皆さまが仮装された
「お化け」も拝見させていただきました。

観客の皆さんから拍手喝采を浴びておられました。が、
寒さと景気の冷え込みをも吹き飛ばす熱気溢れるお祭

りとして定着し、歴史になる行事であるということをも
肌で感じさせてもらいました。

それから約1ヵ月後の3月11日には、東日本大震災
が発生し、日本は危機的状況になっています。計画停
電地区になっていない東京「銀座」においても節電対
策ということでネオンが灯されていないなど、全国に
もお祭りの要素のものは自粛ムードが漂っている中
でもあり、被害を免れている関西地区においても、北
新地に向かうお客様の足取りも重くなることが予想さ
れます。

しかし、社交飲食業は、日々の生活の中で、疲れや
ストレスを癒し、潤いと安らぎを与えらるるとともに、明
日の英気を養う場を提供する、現代社会にとってなく
てはならない役割を果たしておられます。

今こそ「北新地」の社交飲食業が沈滞ムードの日本
における活性剤として活躍される時期でもあると思っ
ております。

特に北新地社交料飲協会に加盟の組合員の皆さまは、
明確な料金表示の店づくりに努められるとともに、飲
酒運転の根絶や健全で魅力のある街づくりなど、地域
の発展にも積極的に取り組まれており、こうした業界
のご努力は高く評価されていると伺っております。今
後とも地域社会の一員として、一層のご活躍とご発展
をご期待申しあげます。

私どもは、環境衛生金融公庫、国民生活金融公庫と
言われる時代から、社交飲食の皆さま方に身近な政府
系金融機関としてご利用いただいてまいりました。今
後も皆さまとの連携を大切に、「北新地」のさらなる発
展を支援させていただく所存でありますので、引き続
きご理解とご利用を賜りますようお願い申し上げます。
最後になりますが、貴組合と組合員の皆さまの一層の
ご繁栄を祈念いたしまして、お祝の言葉いたします。

「おいでやす」
北新地の芸妓さんによる舞台上で平成4年に大阪の料亭「つる家」で始まり、今も北新地の芸妓さんに引き継がれている。

懇親会



栗拾い

1992
平成4年

●バルセロナ五輪

●「のぞみ」運転開始
時速270キロ(東京新)

●長崎ハウステンボス
開園

第三十二回定時総会
「城崎西村屋
グランドホテル」



岡田一男氏
「全国社交飲食業同業組合」
会長に就任

1993
平成5年

●プロ野球F.A制導入

●サッカーJリーグ
開幕

「北新地料飲協会」に改称
会長に岡田一男氏
理事長に岸本辰三氏 就任



岡田会長



岸本理事長

牡丹俊夫 副理事長
小松恵美子 副理事長
山名和枝 副理事長 体制

第三十二回定時総会
「全日空ホテル」

12月
飲酒運転追放運動



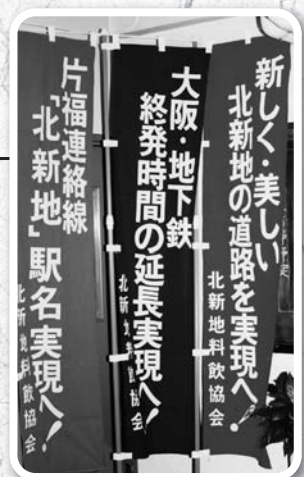
流行表

1992
平成4年

フレーズ	ほめ殺し
フレーズ	冬彦さん
ソング	「君がいるだけで」

●M.O登場

6月
「北新地」駅名運動



岡田一男 会長
岸本辰三 理事長
牡丹俊夫 副理事長
工藤日出男 副理事長
若木正実 副理事長
小松恵美子 副理事長
山名和枝 副理事長 体制

流行表

1993
平成5年

フレーズ	規制緩和
フレーズ	鉄人
カルチャー	ジュリアナブーム

リフレッシュ北新地



50周年を迎えられました事を心よりお祝い申し上げます。
一言で50年といいますが、半世紀。おきやーと生まれて五十歳その間には色々な事があったと思います、私が初めて北新地を見たのは、約40数年前、学生の頃でしたが、あまりに華やかな夜の街に圧倒され、先輩に連れて行かれた店も何処だったのか記憶に残っていませんが、神戸で育った私にはやはり大都会に映りました。現在、私は社団法人日本バーテンダー協会関西地区本部の本部長として毎月会議で大阪に参っております。その折に自転車で会議に参加している役員の方々多数おられます。少し前ですが新地のある店に行きますと、そのスタッフが慌てて自転車置き場に出かけていきました。聞きますと、早く行かないと置き場が無くなるとのこと、なんとか駐輪場が多く出来れば良いとおもいます。平成20年には北新地クイーンも誕生し、北新地の夜の顔も華やかさを増し、東司丘理事長を中心に役員の皆様のご努力のお陰で昔の北新地のよい面が戻りつつある様に思います。今後の北新地のご繁栄と会員皆様のご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉と致します。



社団法人
日本バーテンダー協会
関西地区本部長
木村義久氏



第二十四回定時総会
「白浜温泉
ホテルシーモア」



2月 節分

協会同窓会にて

夜の商工会議所と言われた「クラブ太田」ママさん(右)と「クラブ山名」ママさん(中央)、相生(現)名誉会長(左)との貴重なスリーショット (平成6年撮影)



第三十三回定時総会
「堂島ホテル」

1995
平成7年

3月20日
地下鉄サリン事件

1月17日
阪神淡路大震災

10月

清掃キャンペーン



流行表

1995
平成7年

モノ	ナンバーズ
フレーズ	変わらなきゃ
ソング	「TOMORROW」

6月
防犯街頭運動



北新地ポイ捨て防止
キャンペーンスタート



・プレイステーション
発売

1994
平成6年

ニュース	リストラ
フレーズ	同情するなら金をくれ

流行表

北新地駅名キャンペーン



1月17日
「上通り森口」オープン

北新地社交料飲協会が、このたびめでたく創立50周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

平素は、市政・北区政の各般にわたり、格別のご理解・ご協力を賜り、厚くお礼を申しあげます。

協会の皆様が目頃から、安全・安心で美しい北新地のまちづくりに向けた活動に積極的に取り組んでおられますことに深く敬意を表します。

とりわけ放置自転車対策につきましては、地域や行政と協働による地道な活動を続けてこられた結果が、キタエリアの自転車放置禁止区域指定や、駐輪場整備の早期実施という大きな成果につながりました。

さて、先日、大阪ステーションシティがグランドオープンし、大阪の玄関口であるキタの新しい顔に、国内外から関心と期待が寄せられています。大阪を代表する社交の場「北新地」が、伝統とおもてなしの心で大阪経済の活性化に大いに貢献されることを期待しています。

北新地社交料飲協会が、東司・丘理事長を筆頭に、今後さらに発展されますとともに、会員の皆様方のご健勝とご繁栄を心から祈念申し上げてお祝いのことばといたします。



大阪市北区長
上平 康晴氏



1月
第一回親睦互礼会



新年の親睦互礼会
会員仲よく楽しいひととき

5月
第三十七回定時総会
「淡路島 海月館」



4月
堂島アバンザの北東部に
「堂島薬師堂」リニューアル



5月
第三十八回定時総会
「有馬グランドホテル」



● 5月
長野オリンピック
和歌山
毒入りカレー事件

1998
平成 10 年

● 明石海峡大橋開通
● 西淀川公害訴訟で原告
と国・公団との和解成立

● 欧州通貨統合で
「ユーロ」誕生

1999
平成 11 年

● 東海道新幹線 700 系
導入

今年も二月三日北新地本
通りで堂島、北新地地域の
節分祭、交通安全を
「祭」が執り

節分祭

福は内
鬼は外

師堂 賛会

5月18日
「ラウンジ和花」オープン

岡田一男 会長
岸本辰三 理事長
小松恵美子 副理事長
山名和枝 副理事長
浅野典子 副理事長
萩田栄子 副理事長
金丸幸代子 副理事長 体制

1998
平成 10 年

フリース	だっちゅーの
テレビ	「ショムニ」

厄除開運願い
北新地節分祭
開かれる

▼堂島薬師堂の節分祭「サムイ」

節分祭 護摩供厳修

6月9日
「Bar Beso」オープン

1999
平成 11 年

ソング	「だんご3兄弟」
ソング	「孫」

11月

「北新地まつり」あざやかに復活！
まちおこしへの期待を担って、お祭り開幕
不景気風も吹き飛ばす熱気に沸きかえる。

河庄あきひろはに
のへ3000人が来場！
熱な熱さが青空に
染み渡った北新地の夜

北新地まつり

● ケータイ
インターネット・email
開始



たる出版(株)
代表取締役
高山恵太郎氏

「新地への期待」
《大いに叱って、大いに褒めて！》
北新地社交料飲協会の創立50周年、おめでとうございます。
今後の末永いご発展をお祈り致します。
月刊「たる」を創刊して今年ではや32年目となりました。北新地の皆さんには、ひとかたならぬお世話を頂き感謝しております。

「どないしてたん？」「死んでたんとかやうか？」と、しばらく新地にお伺いしないと、直ちに厳しい挨拶が店々から飛び交うのが、大阪が誇る繁華街「北の新地」なのである。ところが、東京・銀座は「アラ、お久しぶり、お元気でしたか？」と確かに言葉は丁寧であるが、なぜかそっけない。しかし、新地は冒頭の言葉のように多少乱暴だが、人を思う人情は厚く、その上親しみがあってなぜか心引かれるところがある。そこが好きな一面でもある。

世界どこへ行っても、素晴らしい都市には、必ずと言ってよいくらい、素敵な繁華街がある。「北の新地」もしかり、日本を代表する

大都市、大阪の繁華街なのだ。その上、素晴らしい歴史もあり、楽しい処として、大いに自負されて良いと思う。
新地をよく知るある先輩に、かつて「なぜ人はこのようなところに来るんですかねエ？」と訪ねたことがある。先輩曰く「それはねエ、日頃の自分の行いに対して、年輩者はママさんらに叱られに、若年者は褒められに、来てるんだよ」と・・・納得した。

新地の皆さんに、これから大いに期待したいことは、新地を訪れるお客さんに、今後、今まで以上に「大いに叱って、大いに褒めて」頂きたい。又、いつまでも新地が華やかで、心を癒す繁華街であって欲しいものです。これから80周年、100周年へとご発展を期待しています。

